

第9回地区庶務担当理事連絡協議会

と き 平成25年2月27日(水)午後2時30分～

△森会長挨拶

森会長は、安倍首相訪米後、T P P参加に向けて話が急速に進んでいることに触れ、訪米前に日医会長と日歯会長が安倍首相に面会し、国民皆保険制度堅持について話し合いの場を持った経緯について説明するとともに、府医としても府議会や市会に対し混合診療・株式会社参入の反対、皆保険制度堅持の請願をしてきたことを報告した。また、T P P参加の条件に「聖域なき関税撤廃を前提としない」という事で了解を得たとのことであるが、基本的には例外はないことから、非常に厳しい話になるとの見通しを示すとともに、T P P参加の影響が薬価制度や診療報酬改定に波及する危険性を示した。

また、先日開催した府医連の地区代表者会で、府医連としての参院選への対応に係る議論をしたと報告。組織内候補者不在のデメリットが明瞭になってきたことから、参院選での大量得票による当選が医療財源を確保していく上で非常に重要であると強調。自民党からの推薦で羽生田日医副会長を候補に出すことが決定したと報告し、短期ではあるが知名度を上げていけるよう、協力を依頼した。

△報告ならびに協議事項

1. 一般社団法人移行後の日程等について（松井理事）

一般社団法人への移行については、予定通り4月1日付で一般社団法人へ移行する予定であると報告。6月16日(日)に開催する府医代議員会にて府医の新執行部を選任することから、例年4月に行っていた新・旧庶務担当理事懇親会を7月に行うなど、会議のスケジュールに一部変更があることを紹介した。

西陣医師会から、地区庶務担当理事の交代時期が地区により異なり、4月には新・旧の庶務担当理事が混在するがよいか、との確認の声に対し松井府医理事は、各地区の事情に合わせて新・旧の庶務担当理事の交代をし、出席いただきたいと依頼した。

2. 最近の中央情勢について（城守理事）

平成25年1月下旬から平成25年2月中旬にかけての社会・医療保険状況について、規制改革会議や社会保障制度改革国民会議での議論など、経済界の議論の内容を中心に説明した。

3. 学術講演会の今後の予定について（小野理事）

3月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し、多数の参加を呼びかけた。